

Member



しづる



多彩な音の引き出しを持つアカペラマイスター。遠征で磨きをかけた技術と、大抵の無茶ぶりに対処できる懐の深さは、余人の及ぶところではない。安定の歌唱でバンドを支える。

えぐちん



大人の優しさでバンドを包み込むマイルドダンディ。ほっこりするMCで場の空気を和ませる一方、真っすぐ伸びていく歌声は破壊力十分。人呼んで「茶屋町の小田和正」は伊達じゃない。

うにらん



曲のアレンジから音作りまで、音楽制作全般にわたってバンドの指揮を執る絶対的リーダー。気さくな人柄で、メンバーの信頼もすごぶる厚い。トレードマークのハンチング帽も、味わいを増してきた。

ごうすけ



しゃんそん'z が誇るマルチタレント。バンドのフロントマンとして、キレキレのパフォーマンスで魅せるとともに、ステージの構成・演出でも敏腕ぶりを発揮。信頼と実績の団体芸を統率する。

ふにゃっち



地味なサラリーマンの代表格として、何とも言えない存在感で、バンドにアクセントを加える隠し味。「好きこそ物の上手なれ」を心の支えに早20年。今日も、無事に歌い続ける。

Guest

La Birds

2000年4月結成のアカペラグループ以来、大人の部活動として「ユルく、熱く」歌い続けてきました。

いよいよ20年目に突入。経年劣化しつつある5人が、変わらぬ情熱をお届けします。
・・・La Birds goes on.

U-Soul



La Birds 魅(疑)惑のリーダー。アカペラへの情熱とリーダーとしての自覚は人一倍だが、なぜか九分九厘 Saku がリーダーだと思われる。ものづくり、大道芸などアカペラ以外に造詣が深い。

Saku



鳥取が生んだ、ソウルフルかつ日本海の磯の香り漂う歌手。幼なじみの U-Soul とは、もはや恋人。黄色い声援が大好き。もてはやされると悦状態（ヘヴン）に突入。実力を超えるパフォーマンスが飛び出す。

naoco



直感と記憶だけで歌う、非理論派アカペラー。顔は濃いけど酒には弱い。特技は「考えているふり」軽やかに毒を吐き、さわやかに下ネタを飛ばす。まさに姉さん。

eiko



我らがプロデューサー兼プレイヤー。La Birds の技術の要。ややもすれば、ふざけがちなメンバーに的確な指示を出し、何とかカタチにしてくれる。しかし、油断するといちばんフザける要注意人物。

Hamaken



ステージでは寡黙を貫く Mr. ベースマン。たまに発するひと言がウケると、リーダーが嫉妬に身もだえる。この人なくしては、La Birds のサウンドたり得ない、最年少にして揺るぎない地位を築く男。特技は「滝の汗」

しゃんそん'z



La Birds

